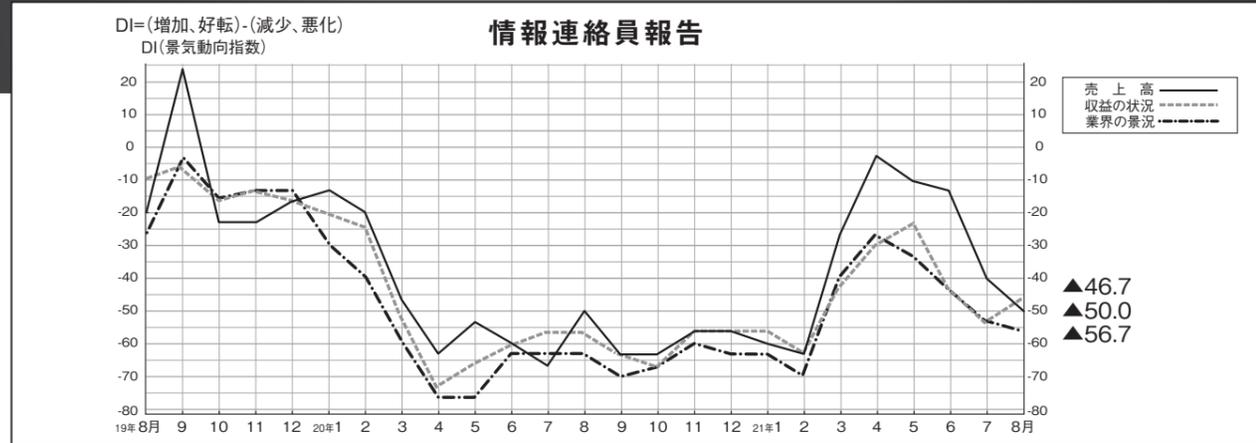


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2021年8月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 | ☁️...やや好転 | ☁️...不変 | ☁️...やや悪化 | ☔️...悪化

<p><b>食品団地</b></p> <p>コロナ禍によって低調。回復の兆しが見えないまま、原材料費等の値上がり収益状況を厳しくしており、大手メーカーの食品卸価格の値上げ発表があった。中小の値上げも間もなく始まる予想。</p>	<p><b>生コンクリート製造</b></p> <p>建設関連予算の削減、予算執行の遅延などの影響が増えそうである。</p>
<p><b>酒類製造</b></p> <p>先月同様、県内のまん延防止宣言、首都圏の非常事態宣言等により大幅な落ち込み。対策なし。</p>	<p><b>コンクリート製品</b></p> <p>出荷数量は、前年同月比91%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月以降は、増減を繰り返して、令和3年8月分減少に転じた。</p>
<p><b>テントシート</b></p> <p>コロナ感染拡大防止策でイベント関連事業の中止、延期で売上ダウンの状況が続いており、イベント関連主力の事業所は、大変な状況。</p>	<p><b>機械団地</b></p> <p>原材料費高騰により収益が悪化する事業所がある一方で、完工高が増え収益を伸ばした事業所もあり、団地内の業況にはバラツキがある。</p>
<p><b>木製品素材生産</b></p> <p>スギ・ヒノキともに量は1割程度減で、価格的には横ばいの状況。しかしながら、外材減少の余波は続いており、先が見通せない不安状況がある。</p>	<p><b>刃物製造</b></p> <p>昨年より売り上げは減少した。まだ受注残はあるものの新規受注が少し落ちている。</p>
<p><b>製材</b></p> <p>原木、製品共に不足気味で価格上昇傾向は変わらず。</p>	<p><b>船舶製造</b></p> <p>生産活動は高い水準で推移している。新型コロナウイルス感染拡大の影響は軽微であるが、海外営業活動ができていない。</p>
<p><b>製紙(家庭紙)</b></p> <p>外出する際に利用する“ポケットティッシュ”が特に需要減となっている。ポケットティッシュの売り上げ比重が高い県内家庭紙メーカーは、“人流”に制限が掛かるコロナ禍では厳しい状況が続く。</p>	<p><b>珊瑚装飾品製造</b></p> <p>8月の取引額は前年同月比95%となった。しかし、コロナ禍前の前々年と比べると40%であり、依然回復の兆しが見えない。末端の消費者による購買力が低調である。</p>
<p><b>印刷</b></p> <p>前年対比は昨年同等。県外需要で一部回復傾向も見られたが県内需要が蔓延防止措置等の影響もあり厳しい。一昨年対比で見ると大幅減で相変わらず回復傾向は見られない。</p>	<p><b>卸団地</b></p> <p>1.コロナの影響で、観光・外食は低調である。2.今年度は、原油価格が上がったうえに、オリンピックの影響もあり、地方経済は、悪い方向に動いている。(コロナ禍、消費税増税の影響大)</p>

<p><b>青果卸売</b></p> <p>天候不順(長雨、高温)の為入荷量は減少し、品質も悪化。販売価格も上昇し、売上前年対比は87.4%になってしまった。</p>	<p><b>商店街(四万十市)</b></p> <p>観光客、お盆の帰省客ともに増加した。その後感染者数が増えるにつれ各業種にはキャンセルが目立つようになってきた。一進一退を繰り返している。</p>
<p><b>生鮮魚介卸売</b></p> <p>カツオは順調に推移。マグロは足りている状態。小物は少ない。飲食関係の時短営業により売上も大幅に減少。仲卸店舗でもコロナの影響で一店舗廃業。第5波の影響で増々厳しい状況になると思われる。</p>	<p><b>旅館・ホテル</b></p> <p>緊急事態宣言等の拡大により個人客のキャンセルが増加。お盆休みも特定日以外は閑散としていた。</p>
<p><b>各種小売(土佐市)</b></p> <p>8月はお盆、長期休みがあってもコロナのせいでお客さんも入りも少なく、小売店には非常に厳しい状況が続いている。</p>	<p><b>飲食店</b></p> <p>食糧品全体に値上がり傾向、仕入価格が上昇。月前半は集客もよく売り上げは回復傾向だったが、全国的に感染が拡大するにつれて集客が激減した。長引く売上減により業界の景況は悪化の一途をたどっている。</p>
<p><b>ガソリンスタンド</b></p> <p>原油価格は軟調推移も、市況を下げるには至らず期間終盤には反発、9月には原油急上昇の予想も出ている。またカーボンニュートラルによる販売数量の減少は避けられず、マージン確保の為、価格は安定しない。</p>	<p><b>旅行業</b></p> <p>組合クーポン前年同月対比176%、全旅クーポンを加味して172%だが、令和元年8月対比は32%。旅行業者は秋のシーズンにかけているが、キャンセルが相次いでいるとの報告あり。打つ手がない。</p>
<p><b>電気機械器具小売</b></p> <p>8月度は、前年比92%。長雨の影響で、特にエアコンが前年比80%ぐらい。</p>	<p><b>一般土木建築工事</b></p> <p>令和3年8月分の公共用生コン出荷量は、前月比87.4%、前年同月比93.7%。公共工事請負金額は前年同月比で95.6%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。</p>
<p><b>中古自動車小売</b></p> <p>中古車相場の高止まりが続いている中、高年式車種等の注文、問い合わせが先月より増加傾向ではあるが、収益率は厳しい。</p>	<p><b>電気工事</b></p> <p>組合員の施工する電力引き込み線工事量は、前年同月比92.5%となった。県下全域で横ばいまたは減少した。</p>
<p><b>商店街(安芸市)</b></p> <p>県下の新型コロナ感染者数増加により『まん延防止等重点措置』が発令され、非常に厳しい状況となった。ワクチン接種を条件に行動制限が緩和され、イベントの開催や客足が戻る事を願う。</p>	<p><b>一般貨物自動車運送</b></p> <p>組合実績は昨年度より微増。組合員企業も昨年よりは物量が若干増加しているところもでてきているが、コロナ感染拡大により今後は不透明といえる。燃料価格は高止まり。9月は大幅値上げの可能性もある。</p>
<p><b>商店街(高知市)</b></p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比61.4%、台数:前年比78.5%。長雨とコロナ感染拡大で散々な8月。まん延防止等重点措置が適用されて以降、観光客を中心に来街者はかなり減っている。</p>	<p><b>タクシー</b></p> <p>まん延防止等重点措置の地区となった高知市では外出する年配者も大幅に減り、昼夜を問わず需要がない。雇用安定助成金の受給で運転者は生活している状態。仕事を休まざるを得ない。お客様が少ない。</p>

挑戦の数だけ、  
保険がある。

To Be a Good Company

東京海上日動

